

## 第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (上川南部流域)

### 1 流域の特色(国有林 275千ha、民有林 145千ha)

本流域は、北海道の中央部に位置し2市11町1村で構成されている。

中央北部に上川盆地、中央南部に富良野盆地があり、東部は北見山地から石狩山地、大雪山系を経て十勝岳連峰の山々が連なり、西部は夕張山地の山々がそびえている。

石狩山地、大雪山系を水源とする大小の河川が合流して石狩川を形成し、上川盆地のほぼ中央を西流し、十勝岳連峰を水源とする美瑛川、空知川が石狩川に合流し日本海へ注いでいる。また、日高山地を源流とする鷲川が南下して太平洋へ注いでいる。

森林は山岳部を中心に針広混交林地帯が占めており、その多くを大雪山国立公園をはじめとする自然公園地域等に指定されており、自然環境保全の重要性が高い地域となっている。

また、当流域は大雪山系、夕張山系や富良野地域等は観光地としても有名であり、毎年多くの観光客が訪れており、森林レクリエーションを目的とする利用客も多い。

当地は、古くから優良な広葉樹材を多く産出し、これを基にした地場産業として木製品、特に家具生産が盛んに行われ道北地域の林産物の拠点となっている。

一方、大雪山系は十勝岳をはじめとする道内有数の火山地帯であり、大正15年の十勝岳火山泥流災害をはじめ数次の火山災害が発生しており、山地災害防止機能の発揮が強く求められている。

### 2 流域内で優先的に取り組むべき課題

#### (1) 水源林の整備等

当該流域の水源林は、道北地方における厳しい気象条件の中で、良質な水や美しい景観などを呈している。こうした機能を維持するように水源林の整備を推進し良質な森林へ再生・創造するよう努める必要がある。さらに地球温暖化防止、生物多様性に資するものとし、併せて国民の森林とのふれあいを推進するために、地方自治体、森林・林業関係者、森林ボランティア関係者との連携強化を図る必要がある。

#### (2) 間伐等の推進

56千haの人工林は、間伐対象となる6齢級以上のものが約9割に達するなど生育途上にある。

森林を健全なものに育成するとともに、地球温暖化防止対策からも間伐により密度調整を積極的に推進していく必要があり、間伐材の有効利用を促進するための低コストで林地にやさしい作業路等の路網作設も併せて必要となっている。

また、低コスト高効率作業システムの推進のための民有林と連携した技術検討会の実施、間伐材の公共事業等への利用拡大、間伐材の新規利用に向けた技術開発な

ど利用促進を図る必要がある。

### (3) 森林・林業に関する普及啓発

近年、自然保護や地球温暖化防止に対する意識は高まっているものの、森林の仕組みや林業の役割等に関する知識の普及活動は必ずしも十分といえないこと、教育関係者や森林ボランティア団体から森林教室等に対する強い支援要請があること等から、森林教室等の開催及び講師派遣、森林ボランティア団体の行う行事への支援等をさらに充実させ、森林・林業に関する普及啓発を推進する必要がある。

## 3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

上川南部流域における国有林に対するニーズや要望を把握するため、公共機関（支庁、市町村、教育委員会、小中学校等の教育機関）及び林業関係者、NPO法人等にヒアリング等により、平成21年12月から平成22年1月にかけて意見聴取したところ、ニーズ・要望等が以下のとおり124件（複数回答）寄せられた。

なお、要望等は内容により、計画的な木材供給の推進、森林施業の効率化・共通化等の取組、林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成、安全・安心への取組、生物多様性保全に配慮した取組の推進、上下流域の連携強化のための下流域住民等に対する情報提供、林業体験活動等、その他に区分した。

#### 計画的な木材供給の推進

- ・ 長期的な計画に基づく国有林材の安定供給
- ・ 間伐材の利用・未利用材等の木質バイオマス資源の需要拡大へのPR活動
- ・ 木材需給に関する情報交換等の実施 外

#### 森林施業の効率化・共通化等の取組

- ・ 道北地域のランドデザインの継続
- ・ 森林施業の共通化・低コスト作業システム等の導入に向けた検討会の開催
- ・ 民国が連携した路網整備の効率化推進
- ・ 各種検討会等のフィールド提供 外

#### 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

- ・ 新たな技術開発のための検討会、研修会の開催
- ・ 林業の担い手育成に係わる研修フィールドの提供 外

#### 安全・安心への取組

- ・ 治山連絡会議の開催、検討会・シンポジウムの開催
- ・ 民国が連携した森林保全事業（治山工事、保安林整備等）の実施
- ・ 地域住民への防災情報等の発信
- ・ 治山技術等の普及・啓発 外

### 生物多様性保全に配慮した取組の推進

- ・生物多様性保全のための検討会・勉強会・シンポジウム等の実施
- ・希少動植物保護のための検討会・勉強会・シンポジウム等の実施
- ・有害鳥獣被害対策の検討及び実施 外

### 上下流域の連携強化のための下流域住民等に対する情報提供、林業体験活動等

- ・地球温暖化防止に向けた森林の必要性を広く一般住民へPR
- ・「遊々の森」、「ふれあいの森」等の森林環境教育等の実施
- ・森林林業及び森林環境等に関する講師派遣要請
- ・体験林業・森林教室などの体験活動の継続及びフィールド提供等
- ・記念植樹及び育樹や体験林業
- ・お魚を殖やす植樹運動の継続
- ・ボランティアに対しての林業体験等のフィールド提供 外

### その他

- ・森林を利用した催しものの企画 外

## 4 国有林野事業が率先して行う取組

国有林野事業では、上記の要望等を勘案して、以下の項目に取り組んで行くこととする。

### 計画的な木材供給の推進

#### ア) 目標

- ・木材の安定供給の取組
- ・未利用材利用等木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組

#### イ) 連携・協力機関

- ・上川総合振興局、森林づくりセンター、森林・林業活性化センター、関係市町村等

#### ウ) 取組方向

- ・計画的に木材の供給を図るため、管理経営計画に基づいて平準化した供給を行う
- ・木質バイオマス資源の需要拡大に応じた林地残材等の活用に向けた取組

### 森林施業の効率化・共通化等の取組

#### ア) 目標

- ・道北地域のグランドデザインの継続
- ・長伐期施業等の展示
- ・低コスト作業システム及び林地にやさしい作業路作設研修会
- ・森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の推進

#### イ) 連携・協力機関

- ・上川総合振興局、関係市町村、森林・林業活性化センター、関係業界等

#### ウ) 取組方向

- ・ 上川北部、南部流域及び留萌流域・宗谷流域の森林を一体的に扱っている道北地域のランドデザインの継続と情報の共有化
- ・ 国民の多様なニーズに応えるため、長伐期施業等多様な森林へ誘導方法の指導
- ・ 森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の取組
- ・ 低コスト高効率作業システムの確立に向けた民国連携の現地検討会等の開催
- ・ 低コストで崩れにくい作業道などを主体とした路網整備の取組
- ・ 低コスト作業システム及び林地にやさしい作業路作設研修会の開催、指導と情報の共有化

### 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

#### ア) 目標

- ・ 合理的かつ効率的な事業規模、機械装備等を有する経営体質の強い林業事業体の育成
- ・ 地球温暖化防止への貢献
- ・ 民有林と連携した技術交流会等
- ・ 林業技術の普及・啓発の推進

#### イ) 連携・協力機関

- ・ 上川総合振興局、森林づくりセンター、森林・林業活性化センター、関係市町村、教育機関、関係業界等

#### ウ) 取組方向

- ・ 上川総合振興局等と連携した林業事業体育成のための研修フィールドの提供
- ・ 担い手対策に係わる、研修等のフィールド提供、講師の派遣
- ・ 活性化センター等との連携による「技術交流会」、「現地検討会」等の開催
- ・ 施業モデル林設定の取組

### 安全・安心への取組

#### ア) 目標

- ・ 治山連絡会議の開催、検討会・シンポジウムの開催、ハザードマップの調整等
- ・ 民国が連携した森林保全事業（治山工事、保安林整備等）の実施
- ・ 地域住民への防災情報等の発信、治山技術等の普及・啓発の取組

#### イ) 連携・協力機関

- ・ 開発局、上川総合振興局、森林づくりセンター、各市町村等

#### ウ) 取組方向

- ・ 地域住民へ対応した総合的なハザードマップの作成や防災情報の発信
- ・ 民国が連携し治山工事箇所等の情報共有化
- ・ 治山技術等の普及・啓発のための「技術交流会」、「現地検討会」等の実施

## 生物多様性保全に配慮した取組の推進

### ア) 目標

- ・生物多様性保全のための検討会・勉強会・シンポジウム等の実施
- ・希少動植物の保全活動
- ・針広混交化、広葉樹林化等の森林整備の実施及びエゾシカ等鳥獣被害対策の実施

### イ) 連携・協力機関

- ・環境省、上川総合振興局、森林づくりセンター、各市町村（教育委員会含む）、NPO法人、森林ボランティア団体等

### ウ) 取組方向

- ・事業等を利用した環境整備を行うとともに希少野生動植物の保全活動に協力・支援
- ・研究機関等へのフィールド提供
- ・エゾシカ対策の実施

## 上下流域の連携強化のための下流域住民等に対する情報提供、林業体験活動等

### ア) 目標

- ・国民参加の森林づくり
- ・林業体験活動のフィールド提供

### イ) 連携・協力機関

- ・環境省、上川総合振興局、森林づくりセンター、各市町村（教育委員会含む）、各小中学校、NPO法人、森林ボランティア団体等

### ウ) 取組方向

- ・育樹祭やお魚を殖やす植樹運動の継続
- ・森林づくり活動や学校等で行う体験活動のフィールド提供及び森林教室等
- ・地域住民及び森林ボランティア団体との連携
- ・「ふれあいの森」、「遊々の森」制度を利用した森林活動の支援

流域名・流域番号	上川南部流域（005）	担当部署	上川中部森林管理署 上川南部森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		